

障がいのある子どもたちの絵画コンクール 「第17回キラキラとアートコンクール」開催

～7月2日（月）より募集開始～

三菱地所株式会社は、障がいのある子どもたちの絵画コンクール「第17回キラキラとアートコンクール」（後援：文部科学省・全国特別支援学校長会）の作品募集を7月2日（月）より開始します。

「キラキラとアートコンクール」は、障がいのある子どもたちの可能性を応援したいとの思いから、国内初の障がい者アトライブラリー アートビリティ*を運営する社会福祉法人東京コロニーの協力を得て、2002年にスタート。アートビリティの登録作家として現在22名が活躍するなど、子どもたちの才能を支援してまいりました。

※アートビリティ…1986年に社会福祉法人東京コロニーが設立した障がい者アトライブラリー。現在約200名の作家による約5,000点の作品がストックされ、印刷物等の媒体に貸し出されています。

毎年、個人・団体を問わず全国各地から応募をいただき、前回は1,512作品（40都道府県）の応募がありました。

17回目となる今回は、7月2日（月）～9月7日（金）の期間中に応募された作品から、審査会を経て優秀賞50作品を選出し、その作品展を2018年10月26日（金）～2019年2月下旬にかけて全国8会場（札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡）で開催予定です。また、2019年2月22日（金）には東京・丸ビルホールで表彰式を開催し、賞状と優秀作品集を贈呈します。尚、全応募作品は、ホームページにて公開します。

本コンクールの応募作品はこれまで、様々な企業の冊子の表紙やカレンダーなどに使用されています。子どもたちの感性にあふれたのびやかな作品は、審査会、作品展、作品使用等を通じて、多くの方に感動を与えています。

三菱地所では、本コンクールが障がいのある子どもたちの優れた才能を評価・発掘・展示する機会となり、芸術活動の裾野が広がることを願い、応援してまいります。



（第16回優秀賞より）

これまでの全応募作品を下記ホームページにて公開しています。

キラキラとアートコンクールホームページ <http://www.kira-art.jp>

■開催概要（予定）

- 名称：第17回キラキラっとアートコンクール
- 応募資格：何らかの障がいのある応募年齢18歳までの幼児・児童・生徒
- 応募作品：水彩、油絵、版画、パステル、鉛筆、貼り絵、切り絵、墨絵（習字は除く）など平面表現のもの。課題は自由。サイズは規定（最大で509mm×660mm（小全紙）、最小でA4サイズ程度）。
- 応募期間：2018年7月2日（月）～9月7日（金）
- 優秀賞決定：1次審査・三菱地所グループ社員審査・本審査を経て優秀賞50作品を決定（10月中旬）
- 優秀賞作品展：2018年10月26日（金）～2019年2月下旬
全国8会場（札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡）の当社グループが運営管理するビル・商業施設で順次開催予定
※会場は都合により変更になる場合があります。
- 表彰式：2019年2月22日（金）東京・丸ビルホールで開催
賞状と優秀作品集を贈呈
- 作品公開：優秀賞の発表および全応募作品の公開は、ホームページ上で実施（10月下旬）
- 審査員：O J U N氏（画家・東京藝術大学教授）
青柳 路子氏（茨城大学准教授、東京藝術大学非常勤講師、教育学研究者）
西田 克也氏（西田克也デザインオフィス グラフィックデザイナー）
高橋 宏和氏（社会福祉法人東京コロニー アートビリティ代表）
吉田 淳一（三菱地所株式会社 執行役社長）
高橋 明也（三菱一号館美術館 館長）

子どもたちの可能性を応援：

<三菱地所グループ>

- ・当社本・支店およびグループ6社の来客受付スペース等に、コンクール優秀賞受賞作品を展示しています。



<その他>

- ・応募作品は、様々な企業の冊子やカレンダーなどに使用されています。
- ・本コンクールをきっかけに、社会福祉法人東京コロニーが運営するアートビリティの登録作家として現在22名が活躍しています。

■第16回（2017年度）優秀賞受賞者からの声

受賞者からの声（表彰式アンケートより）

- ・賞をとってうれしかった。また美術で絵を描いて賞をとれるように、学校で勉強をがんばって、いろんな事を学んで、いろんな所でもがんばっていきたいです。

保護者からの声（表彰式アンケートより）

- ・子どもたちの「きらめき」を表現した作品が選ばれている。洗練された色づかい、構図には驚き、感心し、アーティストと名乗ってもよいのでは、と思った。
- ・受賞で自信がつき、他の方面でも色々チャレンジするようになった。
- ・受賞を通じて、本人の自信がステップアップした。絵を描く時間も増えた。
- ・今後も絵を続けて、今回の受賞を活かして将来は絵の関係の仕事についてもらえたら。
- ・子ども自身の目標のコンクール。継続してください。

受賞者学校関係者からの声（表彰式アンケートより）

- ・受賞したことで、学校での支援学級に対する見方を変えてもらえる一つのきっかけとなった。ノーマライゼーションの一つだ。子どもたちを支援する者として、このような場が社

会全体に広がることを望む。

- ・優秀賞はとても良い絵を選んでいると思う。これからも生徒に応募させたい。
- ・多くの生徒が、コンクールを目標に4月からキャンパスに向かって悪戦苦闘している。“続けていく”ことは大変だと思うが、子どもたちの「夢」でもあるコンクールを続けてください。

■第16回（2017年度）キラキラっとアートコンクールの様子



1次審査



三菱地所グループ社員審査



本審査



優秀賞作品展（東京会場）



表彰式



表彰式

以上



多様性や国際性に配慮した文化活動・事業を政府が認証し、
日本文化の魅力を国内外に発信するbeyond2020プログラム
認証事業